

農林水産業と地球環境

平成19年10月24日

林 良博

食料・農業・農村政策審議会会長

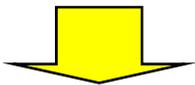
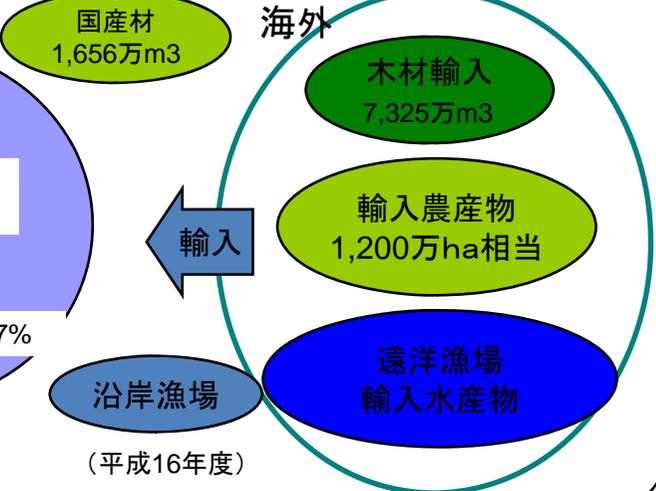
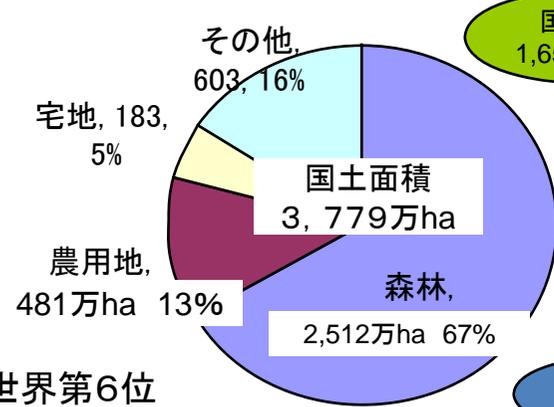
目 次

	No
1. 農林水産業と環境	1
2. 農林水産省地球温暖化対策総合戦略の推進	2
3. 森林吸収源対策の現状	3
4. 国産バイオ燃料の大幅な生産拡大	6
5. 食品産業の自主行動計画	8
6. 施設園芸・農業機械の省エネルギー対策 環境保全型農業の推進による施肥量の適正化・低減	9
7. 漁船の省エネルギー対策について	10
8. 地球温暖化が日本の農林水産業に及ぼす影響	11
9. 地球温暖化への適応策に関する研究事例	15

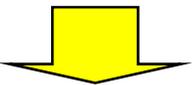
1. 農林水産業と環境

農林水産業の場

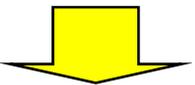
農用地面積 481万ha・・・国土の13%
水環境 258万haの水田
40万kmの水路、21万ヶ所のため池
森林面積 2,512万ha・・・国土の67%
人工林 1,036万ha
国有林 764万ha
漁場 日本の排他的経済水域面積447万km² は世界第6位
(平成16年度)



食料生産

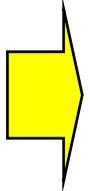


環境



エネルギー

- ・農林水産業を営む際の環境負荷の低減
- ・農山漁村における良好な環境の創出
- ・農林水産業を活用した環境負荷の低減

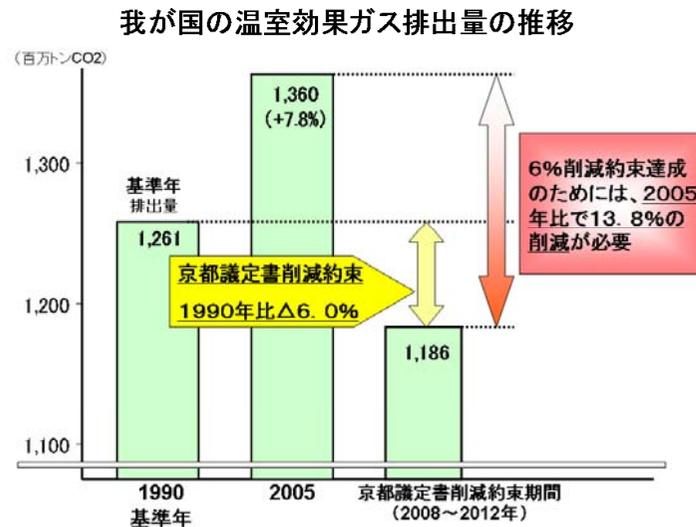


農林水産業・農山漁村は今後、
環境を語る上で非常に重要

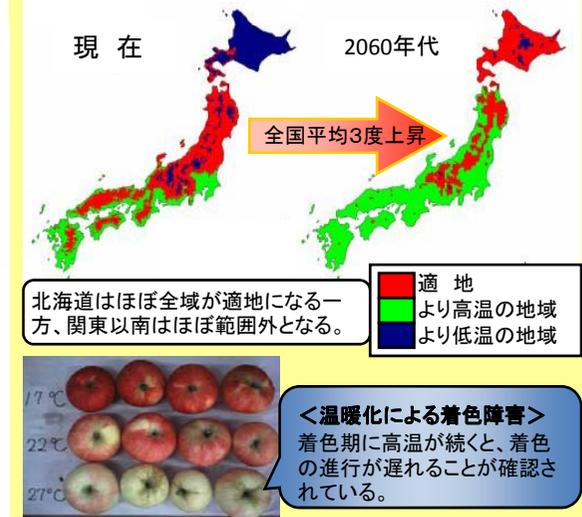
2. 農林水産省地球温暖化対策総合戦略の推進

地球温暖化問題の現状

- 京都議定書6%削減約束の達成は難しい状況
 - ・ 2005年度は基準年比で約7.8%増加
- IPCC(気候変動に関する政府間パネル)報告書
 - ・ 地球温暖化は加速的に進行していると断定
 - ・ 農林水産業にも深刻な影響が生じると予測
- 世界全体で地球温暖化対策を推進する必要



温暖化によるリンゴの栽培適地の移動



農林水産省地球温暖化対策総合戦略の策定(平成19年6月)

I 地球温暖化防止策

- ①削減目標値の達成に向け施策を加速化
 - ・ 森林吸収源対策
 - ・ バイオマス資源の循環利用
 - ・ 食品産業等の環境自主行動計画
- ②新たな削減目標値の設定と達成に向けた施策を推進
 - ・ 施設園芸・農業機械の温室効果ガス排出削減対策
 - ・ 環境保全型農業の推進による施肥量の適正化・低減
 - ・ 漁船の省エネルギー対策
- ③その他の排出削減の取組を推進

II 地球温暖化適応策

- ①地球温暖化適応策の推進
 - ・ 既存技術の生産現場への普及・指導
 - ・ 新たな技術の導入実証
 - ・ 影響評価に基づく適応策の検討
- ②技術開発等の推進
 - ・ 生産安定技術の開発 (高温耐性品種の育成など)
 - ・ 農林水産業への影響に関する予測研究
 - ・ 影響予測に基づく適応技術の開発

III 農林水産分野の国際協力

- ①違法伐採対策等の持続可能な森林経営の推進
 - ・ 違法伐採問題の解決に向けた取組
 - ・ 途上国における持続可能な森林経営の推進に向けた支援
 - ・ 国際ルールづくりへの積極的な参加・貢献
- ②我が国の人材・技術を活用した協力

農林水産分野における対策を総合的に推進し、地球環境保全に積極的に貢献する農林水産業を実現